

東北地方 1 か月予報

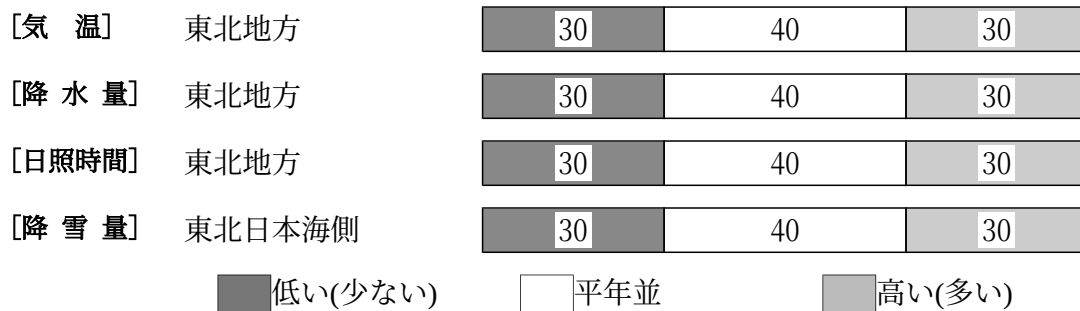
(12月8日から1月7日までの天候見通し)

平成19年12月7日
仙台管区气象台発表

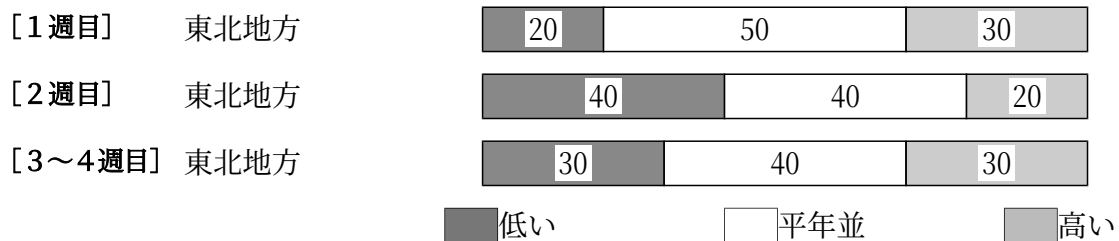
<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。
冬型の気圧配置となる日が多いでしょう。東北日本海側は平年と同様に曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。
週別の気温は、1週目は平年並の確率が50%、2週目は平年並または低い確率がともに40%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間、降雪量の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

1か月 : 12月 8日(土) ~ 1月 7日(月)
1週目 : 12月 8日(土) ~ 12月14日(金)
2週目 : 12月15日(土) ~ 12月21日(金)
3~4週目 : 12月22日(土) ~ 1月 4日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報: 毎週金曜日 14時30分 次回は12月14日
3か月予報: 12月25日(火) 14時

<参考資料（平年並の範囲等）>

（１）30 年平均値（向こう 1 か月の平均気温、降水量、日照時間、降雪量と 1 週目、2 週目、3～4 週目の平均気温）

	気 温 (°C)	降 水 量 (mm)	日照時間 (時間)	降 雪 量 (cm)	気 温(°C)		
					1 週目	2 週目	3～4 週目
青森	0.5	144.8	53.8	187	1.8	0.8	0.0
深浦	1.7	119.3	32.5	89	3.0	2.0	1.3
むつ	0.5	91.5	73.1	121	1.7	0.7	0.0
八戸	0.8	41.2	128.3	64	2.2	1.1	0.3
秋田	1.9	149.6	45.8	93	3.3	2.2	1.4
盛岡	0.0	59.2	107.7	80	1.3	0.3	-0.5
大船渡	2.7	36.0	141.4	0	4.0	2.9	2.2
宮古	2.3	37.7	152.7	25	3.6	2.5	1.8
仙台	3.5	29.3	144.9	19	4.8	3.8	3.0
石巻	2.5	27.3	156.4	0	3.9	2.8	2.0
山形	1.5	81.5	83.7	119	2.9	1.9	1.0
新庄	0.5	207.3	37.1	206	1.9	0.8	0.0
酒田	3.5	188.6	41.2	85	4.8	3.8	3.1
福島	3.4	35.7	129.8	43	4.7	3.7	2.8
若松	1.2	86.3	71.8	130	2.4	1.5	0.6
白河	2.0	26.6	155.3	29	3.3	2.3	1.5
小名浜	5.4	37.0	184.5	0	6.6	5.7	4.9

なお、気温、降水量、日照時間、降雪量の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

（２）1971～2000 年のデータに基づいた向こう 1 か月地域平均の気温、降水量、日照時間、降雪量の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差(°C)	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)	降雪量平年比(%)
東北地方	-0.3～+0.6	77～103	96～104	70～105
東北日本海側	-0.3～+0.6	90～107	89～106	80～110
東北太平洋側	-0.2～+0.6	63～106	98～104	57～108

（３）この予報期間の 1 週目、2 週目、3～4 週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1 週目	2 週目	3～4 週目
東北地方	-0.6～+0.6	-0.6～+0.6	-0.2～+0.7
東北日本海側	-0.6～+0.7	-0.6～+0.6	-0.3～+0.7
東北太平洋側	-0.6～+0.6	-0.6～+0.7	-0.2～+0.7

<参考資料（利用上の注意）>

（１）気温（降水量）等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の 3 つの階級で予報します。階級の幅は、1971～2000 年の 30 年間における各階級の出現率が等分（それぞれ 33％）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。

（２）予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった 10％以下や 60％以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30％、40％）の確率しか付けられません。

（３）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。なお、単に多い（少ない）と表現した場合には対象期間の 2 分の 1 より多い（少ない）ことを意味します。

東北地方 1 か月予報解説資料

平成 19 年 12 月 7 日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう 1 か月 (12 月 8 日～1 月 7 日) :

冬型の気圧配置となる日が多いでしょう。東北日本海側は平年と同様に曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

1 週目 (12 月 8 日～12 月 14 日) :

気圧の谷の影響や冬型の気圧配置により、東北日本海側を中心に曇りや雪または雨の日が多いでしょう。東北太平洋側は、沿岸部を中心に晴れる日が多い見込みです。

平均気温は平年並の確率が50%です。

2 週目 (12 月 15 日～12 月 21 日) :

冬型の気圧配置となる日が多いでしょう。一時寒気が南下する見込みです。東北日本海側は平年と同様に曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

平均気温は平年並または低い確率がともに40%です。

3～4 週目 (12 月 22 日～1 月 4 日) :

冬型の気圧配置となる日が多いでしょう。東北日本海側は平年と同様に曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

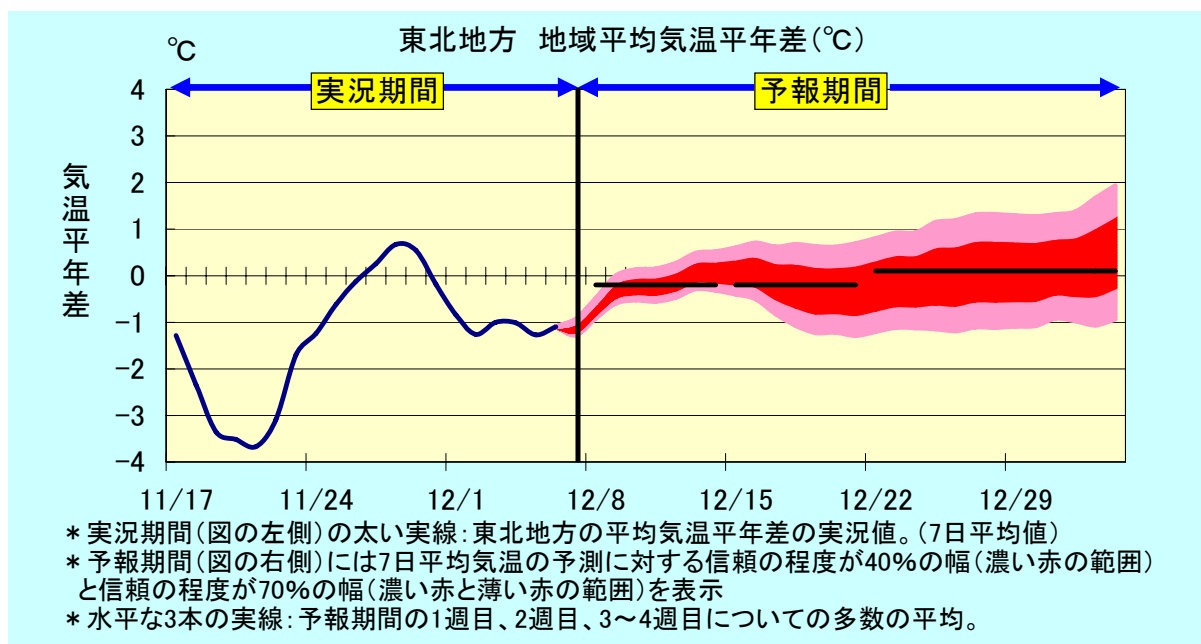
平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

平年の晴れ日数

	向こう 28 日間	1 週目	2 週目	3～4 週目
東北日本海側	4.6 日	1.1 日	1.0 日	2.5 日
東北太平洋側	16.9 日	4.0 日	4.4 日	8.5 日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別のアンサンブル平均気温は、1 週目、2 週目、3～4 週目とも平年付近の予想となっている。

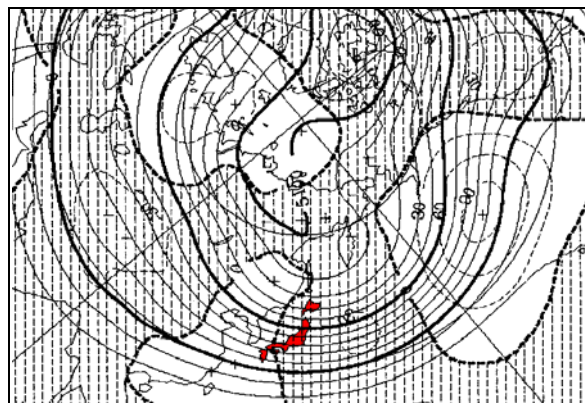


3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500 hPa 予想天気図)

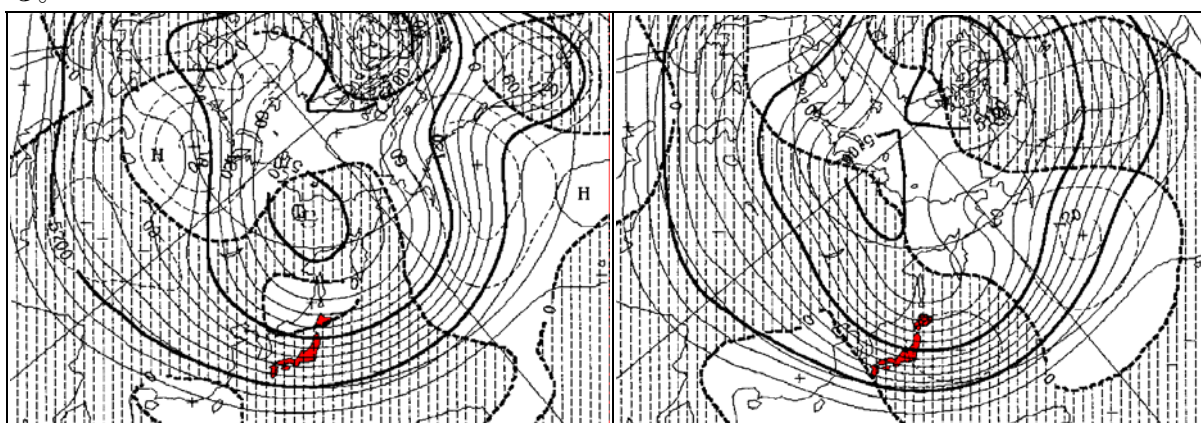
1か月平均: 日本付近は九州と中国地方の一部を除き、日本の東海上に中心を持つ負偏差がかかる。北極付近は正偏差だが弱い。降水域 (図略) は日本の南岸を南西から北東に伸びており、東北地方は低気圧や前線の影響を受ける日もある見込み。

1週目: 日本付近は北海道の一部を除き負偏差で、北極付近は正偏差域となっている。東北地方は寒気の影響があるが、地上の平均天気図 (図略) では、冬型の気圧配置は弱い。

2週目: 日本付近は日本の東に中心を持つ強い負偏差となる。北極付近は正偏差で寒気放出傾向であり、一時日本付近への寒気の南下が見込まれる。



1か月平均 500hPa 予想天気図
(図の見方は1, 2週目と同じ
ただし年平均の間隔は 30m 毎)

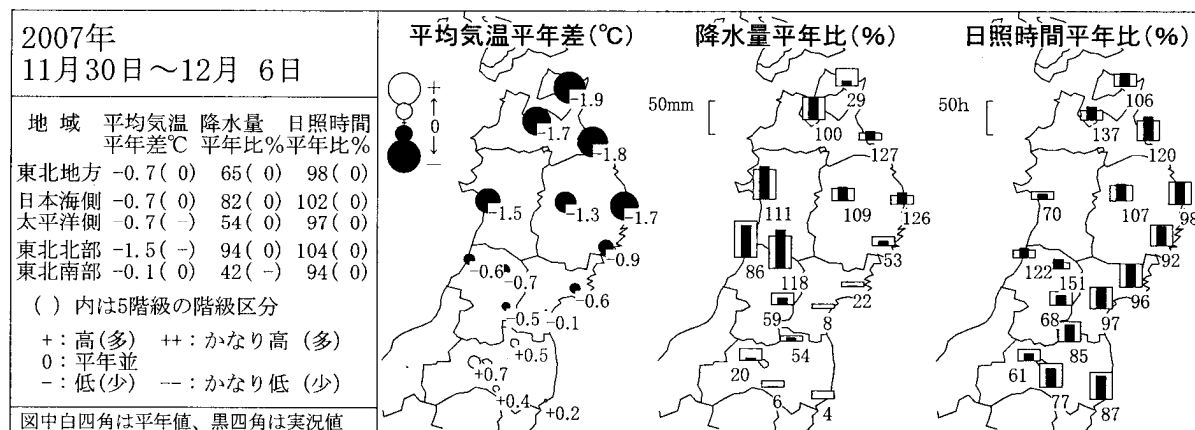


1週目平均 500 hPa 予想天気図 2週目平均 500 hPa 予想天気図
実線は、等高度線 (間隔 60m)、点線は、年平均差 (間隔 60m)
陰影部は、負偏差で一般に寒気に対応する 白抜きは、正偏差で一般に暖気に対応する

4. 最近1週間 (11月30日～12月6日) の天候の経過

この期間、前半は気圧の谷や低気圧により曇りや雪または雨の日が多かった。2日から3日は日本海を通過した低気圧の影響で雪または雨のところが多く、強風となるところもあった。期間の後半は冬型の気圧配置となり、日本海側では雪となったところが多く、太平洋側でも雪となったところがあった。

平均気温は東北北部で低く、東北南部で平年並。降水量は東北北部で平年並、東北南部で少ない。日照時間は東北地方で平年並。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差 (比)